

commons 30+しずぎんファンド

追加型投信 / 内外 / 株式



基準価額の推移

2014年12月29日 ~ 2024年5月31日



※「分配金込基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。※基準価額の計算において、運用管理費用（信託報酬）は控除しています。※当ファンドの信託報酬率は、ファンドの純資産総額の一定の増加により遞減する仕組みとなっており、当レポート作成基準日現在、年率1.265%（消費税込）です。



運用実績

2014年12月29日 ~ 2024年5月31日

基準価額

24,108 円

(前月末比)

+283 円 (1.19%)

純資産総額

18.8 億円

(前月末比)

+0.0億円 (0.37%)

騰落率(分配金込)

期間	騰落率
1ヵ月	1.19%
3ヵ月	2.67%
6ヵ月	17.57%
1年	26.31%
3年	46.91%
5年	108.62%
10年	-
設定来	141.08%

分配金 (1万口当たり、税引前)

決算期	分配金
2019年12月	0円
2020年12月	0円
2021年12月	0円
2022年12月	0円
2023年12月	0円
設定来合計	0円

※「基準価額」およびその「前月末比」は分配落後です。※「騰落率」は、基準日から過去に遡った期間です。税引前分配金を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。※収益分配金は委託会社が決定します。分配を行わない場合もあります。



ポートフォリオの構成比

種別	比率
コモンズ30ファンドマザー	91.3
静岡銀行株式	8.6
現金等・その他	0.2
構成銘柄数	31社



ポートフォリオの状況

業種別比率

機械	21.6%
電気機器	15.5%
化学	14.2%
卸売業	8.3%
サービス業	6.8%
輸送用機器	6.2%
食料品	4.6%
情報・通信業	4.1%
その他製品	3.4%
金属製品	3.3%
小売業	3.3%
医薬品	2.2%
建設業	1.0%
陸運業	0.6%
その他	4.8%

未来コンセプト別比率

ウェルネス	17.0%
精密テクノロジー	16.3%
生活ソリューション	13.5%
快適空間	9.7%
資源・エネルギー	9.2%
新素材	8.7%
地球開発	6.6%
未来移動体	6.2%
社会インフラ	4.2%
ライフサイクル	3.7%
その他	4.8%

組入上位10銘柄

銘柄	未来コンセプト	銘柄概要	組入比率
1 ディスコ	精密テクノロジー	kiru、kezuru、migaku、世界を代表する精密加工装置メーカー	5.2%
2 三菱商事	資源・エネルギー	変化に強い組織力で、進化し続ける	4.7%
3 味の素	ウェルネス	「食と健康の課題解決企業」としての認知を広め、コーポレートブランド価値向上を目指す	4.6%
4 東京エレクトロン	精密テクノロジー	創業時のエネルギーが脈々と続く「革新」を続けるグローバル企業	4.3%
5 日立製作所	社会インフラ	インフラとITをつないで、社会課題を解決する	4.2%
6 KADOKAWA	生活ソリューション	IP創出力とIT技術力に支えられ、変化を恐れず挑戦し続ける	4.1%
7 シスメックス	ウェルネス	起源は音響機器、今は血球計数分野で世界No.1、成長するグローバルニッチのリーダー	3.7%
8 ユニ・チャーム	ライフサイクル	世界企業と切磋琢磨し、空白地帯で成長	3.7%
9 丸紅	資源・エネルギー	規律ある経営で収益を積み重ね、いつか総合商社ナンバーズリーに	3.6%
10 信越化学工業	新素材	戦略的なポジショニングに優れ、素材メーカー随一の収益性	3.6%

※「業種別構成比」「未来コンセプト別比率」「組入上位10銘柄」に関しては、マザーファンドについての記載になります。※各比率はマザーファンドの純資産総額を100%として計算しております。四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。※その他とは現金等を指します。

◎「未来コンセプト」とは、当ファンドが行っている業種分類です。以下のように10種類に分類を行っております。

「資源・エネルギー」「新素材」「精密テクノロジー」「ウェルネス」「生活ソリューション」「社会インフラ」「未来移動体」「快適空間」「地球開発」「ライフサイクル」



運用状況

◎運用レビュー

5月のファンドの月間リターンは+1.19%の上昇となりました。

◎運用責任者メッセージ

5月の内外株式市場は、インドなどアジアの一部地域を除くと世界的な株高となりました。特にNYダウが初4万ドル台に乗るなど、米国株の上昇が顕著でした。NVIDIAが再度、市場予想を上回る決算を発表し大いに注目を集めました。一方、国内株式市場においては、3月期企業の決算発表が終了しましたが、2023年度の決算は市場予想を超えたものの、2024年度の業績予想がとて慎重で市場を落胆させました。加えて、為替介入があっても円安傾向は大きく転換せず、海外投資家が手掛けにくい環境でした。業種別では東証33業種で、保険業、その他製品、電気・ガス業が騰落率上位、不動産業、陸運業、パルプ・紙が下位となりました。

当マザーファンドは、月間で+0.55%の上昇、投資先30銘柄中13銘柄が値上がり、17銘柄が値下がりとなりました。同期間のTOPIX（東証株価指数；配当込）は+1.16%、日経平均株価は+0.21%の上昇となりました。

当ファンドの株式の組入比率は、95.2%と前月比+0.3%の上昇となりました。個別銘柄の月間騰落率ではディスコ+34.26%、資生堂+17.94%、KADOKAWA+12.23%が上位3銘柄となりパフォーマンスをけん引しました。下位3銘柄は、堀場製作所▲19.48%、日揮HD▲18.04%、ヤマトHD▲13.66%となりました。当月、上場来高値を更新した銘柄は5銘柄、年初来高値を更新した銘柄は11銘柄ありました。当ファンドの組入銘柄数は先月に続き30社となっています。

6月は株主総会シーズンを迎えます。企業側の総会を意識したポジティブなニュースも出やすくなります。また、日米の金融政策決定会合もあり、市場は注目しています。特に、足元で金利上昇のピッチの早かった日本の長期金利に対する影響は気になるところです。また、企業取材におきましては、決算発表後の対話が中心となります。引き続き、丁寧な調査・運用を継続していきます。NISAの成長投資枠の対象となっている国内アクティブファンドである当ファンドをどうぞよろしくお願い申し上げます。

最高運用責任者 伊井 哲朗

投資委員会メンバー

○伊井哲朗、上野武昭、末山仁、原嶋亮介、古川輝之/○は最高運用責任者

組入比率と組入銘柄については、マザーファンドについての記載となります。



新規組入投資先

なし



今月のピック！

■ (7974) 任天堂

任天堂の2024年3月期業績は、売上高で前期比4%増、営業利益で同5%増となり、会社計画を上回りました。2025年3月期は売上高1兆3,500億円、前期比19%減、営業利益4,000億円、同24%減の計画です。同社の古川社長は、任天堂公式ソーシャルメディアアカウントで、5月7日、「2015年3月にNintendo Switchの存在を公表して以来9年ぶりにSwitchの後継機種に関するアナウンスを今期中に行います」と明らかにしました。Nintendo Switchのハードは、2017年3月の発売で、2021年3月期は2,883万台まで販売数量が伸びましたが、2022年3月期以降減少基調で、2024年3月期は1,570万台、2025年3月期は1,350万台、前期比14%減を計画しています。[後継機種に関するアナウンスが注目](#)されます。

シニア・アナリスト 上野 武昭

■ (6869) シスメックス

シスメックスの2024年3月期決算は増収増益となり、売上高、営業利益ともに過去最高を更新する好調な業績となりました。主力のヘマトロジー（血球計数検査）の機器、試薬販売の伸長や為替の円安影響などを追い風に米州、EMEA（欧州、中東、アフリカ）、中国、AP（アジア太平洋）、日本の全地域で増収を達成しました。懸案であった中国の業績は検査数の回復や「バイ・チャイナ」政策に対応した現地生産品の拡大により、売上高は2ケタ増収となりコロナ禍前の水準を上回りました。

2025年3月期も良好な市場環境が継続し、売上高、営業利益など2ケタの成長を計画しています。外科手術支援ロボット「hinotori」は診療科適応拡大や昨年7月のバージョンアップモデル発売開始などにより、2030年度の売上高1000億円の目標に向かって順調に販売が増加している模様です。

決算発表後にコモンズ新オフィスにて浅野社長、立花取締役とのIR面談の機会を頂きました。[浅野社長からは、「再生医療の分野を伸ばしていきたい」とのメッセージ](#)を伺うことが出来ました。浅野氏が社長に就任してから1年が経過しましたが、新経営体制の下、シスメックスの更なる成長が期待できるミーティングとなりました。

なお、同社は6月4日に独占禁止法違反（抱き合わせ販売等）の疑いがあるとして公正取引委員会の立ち入り検査を受けたことを公表しました。現時点（6月5日）では、同社による不正行為の有無や業績への影響等については不明のため、今後の動向を注意深く見ていきます。

シニア・アナリスト 末山 仁

■ (7267) ホンダ

本田は、2024年5月10日に2023年度通期業績を発表し、売上高、営業利益ともに過去最高となりました。2024年度計画は、二輪事業の好調、米国四輪事業のプラス成長があるものの、中国のマイナス成長が影響し売上高は20.3兆円で前年同水準となります。一方で株主還元姿勢には変化がみられ、企業価値向上の意欲を感じます。

自動車業界を取り巻く環境の変化としては、電気自動車等の技術革新がありその成長スピードに組織・現場のスピードが追いついていない側面があります。6月3日公表されました自動車5社の認証問題に関して、同社は現在生産中の車種への影響は無く業績影響は軽微です。あらためて、自動車製造におけるインプットからアウトプットまで様々な事業環境（素材調達の変化、製造工程の変化、完成車の要求水準）が変化する中で、自動車各社、日本自動車工業会、国交省、その他第三者機関も含め、検査、認証等の考え方も同時に変化していく必要があると考えます。今後モビリティのハード面の性能、安全性は認証基準クリアの是非に留め、[オーバースペック領域での価値訴求は終わりにし、SDV\(Software Defined Vehicle ≒直訳するとソフトウェア定義された車両\)を価値訴求ポイントとして注力してほしい](#)と思います。

アナリスト 古川 輝之



こどもトラストセミナー リンナイの大口工場でからくり改善を体験しよう！

4月2日(火)にコモンズ30マザーファンド投資先企業のリンナイさんの大口工場でこどもトラストセミナーを開催しました。

大口工場に到着して全体会を行い、挨拶を終えたら早速、からくり改善の体験をしていきます。まずはからくり人形でからくりの解説です。からくり人形は**電気も電池もないのに動いています**。みんなから「ほんとに電池がついてるんでしょ？」といった疑問の声がでましたが、人形の服を脱がすと本当に電気も電池もついていません。



からくり人形の説明

ここでからくり改善の勉強です。
カラクリとは「**自然の原理で動くもの（バネ・歯車など）**」、**カイゼン**とは「**楽にする、ムダをなくす**」ことです。
これを足し合わせると「からくり改善」になります。

さて、からくり人形でからくり改善を勉強したところで、ここから実際の工場でのようからくり改善を活かした取り組みを行っているのかについて体験していきます。

工場では部品の入ったカゴを上げ下げしたり、運んだりします。重いカゴを毎日工場で上げ下げしているととても大変です。
ここでからくり改善の出番です。

例えば、カゴを上から下の棚に移動させるために、腰を曲げて重いカゴを持つのではなく、カゴを載せるとその重みで自動的に下の段に下がる仕組みを使うことで、楽に作業することができます。

このからくり改善において大事な要素があります。

それは「**てこの原理**」です。

「てこの原理」とは、小さな力で大きな力を生み出すことができる原理のことです。

作用点にはリンナイのエコバッグに入った5kgのお米が2つ入っています。支点を動かすだけで、指1本で持ち上げられたり、全体重を乗っけてやっと動いたり、皆ビックリです。

そしてここからは、「カイゼン」を体験するためにゲームを行います。ルールはスプーンの上に紙を丸めた玉を載せて、スプーンをはじいて点数が書いてある箱に入れるというもの。入れた点数の合計点を3チームに分かれて競います。

まずは、リンナイさんが用意してくれたままの状態で行いますが、各チームともそこそこの点数でした。

そして、机の上に置いてあるもの（ティッシュ等）を使ってカイゼンをすることで、カイゼン前よりも高い点数を出すように工夫します。

みんなが考えたカイゼンでもう一度ゲームスタートです。皆、**カイゼンした方が点数が上がりました！**大喜びです！



カイゼンして再挑戦！



工場内でも丁寧に説明してくれます

さて、休憩をはさんで、ここからは工場見学です。大口工場の敷地面積は何とバンテリンドーム（ナゴヤドーム）約1.4個分だそうです！

工場見学のポイントは、もちろん「からくり改善」です。

これまで体験したからくり改善が、実際の工場でのように使われているか、リンナイさんが作業現場で解説してくれます。

工場見学が終わったら、コモンズ投信がなぜリンナイさんへ投資をしているのかについて、担当アナリストの原嶋からこども投資家のみんなへ説明しました。

最後に、リンナイさんの製品の品質が保たれているのも、からくり改善が関わっていることを工場見学で学び、コモンズが投資している理由も教えてもらったところで、社長さんやリンナイさんへお手紙を書きました。

工場の中には今回のからくり改善以外にも、多くの工夫がありました。働く方に、どのように安全に、そして楽に作業ができるか。

多くの体験や学びがあった今回のこどもトラストセミナー。

これからもリンナイを応援していきたいと思えます。

マーケティング部 齋藤 亮



ちょっといい話

【15周年を感謝するイベントの開催】

5月12日に、皆様への感謝の気持ちから「**コモンズフェスタ15周年イベント**」を開催させていただきました。開催場所は、コモンズ投信の新オフィスビルに併設された大ホールを利用しましたので、オフィスのお披露目にもなりました。このイベントには、「**コモンズボランティア（通称コモボラ）**」さんが、19名も参加してくださいました。福岡からだったり、名古屋から親子参加だったり、静岡銀行の行員さんだったり、、、全国のお仲間から（お客様のことを当社では親しみを込めて「お仲間」と呼ばせていただいています）ボランティアスタッフが集まりました。**前日には、そのメンバーで打ち合わせと決起集会、もう、その段階で胸が熱くなりました。**

さて、当日です。当ファンドの投資先からはLITALICOの山口社長の講演にはじまり、旭化成、味の素、エーザイ、エムスリー、シスメックス、堀場製作所、丸紅、リンナイ（五十音順）にブース出展いただき過去最大社数の投資先が参加してくれました。コモンズSEEDCap（社会起業家応援プログラム）の寄付先では、一般社団法人えんがおの濱野代表が参加してくれました。そして、この企業と団体のブースを、「**こどもトラストセミナー ファンドマネージャーになろう！**」企画で、こどもたちがグループに分かれてブースを回り、実際に各企業・団体にインタビューを行い、チームごとに自分たちが応援したい企業・団体をひとつ選んで、最後はステージに立って発表するというワークショップを行いました。こどもたちの視点は、どれも素晴らしく、大人たちも企業側の皆さんも唸っていました。

この日は、お仲間の皆さん、投資先企業の皆さん、寄付先が一同に会してのイベントとなり、まさに、**コモンズ投信の創業時から大切にしてきました共有地＝コモングラウンドの実現**でもありました。私たちは、感謝の気持ちとともに、こうして皆さんと共に未来を創っていくことが出来たら望外の喜びです。

また、先日は、静岡県での「こどもトラストセミナー」として掛川市の「資生堂」企業資料館とアートハウスを、静岡銀行のお客様と訪問することが出来ました。こうした取り組みを今後も拡充してまいります。どうぞ、引き続き、よろしくお願い申し上げます。



代表取締役社長兼最高運用責任者 伊井 哲朗





販売会社一覧

販売会社名	登録番号	加入協会			
		一般社団法人 日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物取引業 協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
株式会社静岡銀行	登録金融機関 東海財務局長（登金）第5号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第165号	○	○	○	○
静銀ティーエム証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第10号	○			
株式会社 SBI 新生銀行（委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社）	登録金融機関 関東財務局長（登金）第10号	○		○	

当ファンドは、NISA制度における「成長投資枠」の対象商品ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、各販売会社にお問い合わせください。



投資リスク

基準価額の変動要因

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま（受益者）の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま（受益者）に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。

お客さま（受益者）には、当ファンドの内容・リスクを十分にご理解のうえ、ご投資の判断をしていただくよう、よろしくごお願い申し上げます。

なお、下記のリスクはすべてのリスクを網羅しているわけではありませので、ご注意ください。

基準価額の変動要因となる主なリスク

株価変動リスク	当ファンドは実質的に国内外の株式を組入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内および国外の経済・政治情勢などの影響を受け変動します。株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割込むことがあります。
流動性リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引が行えない、または取引が不可能となる場合が生じることを流動性リスクといいます。この流動性リスクの存在により、組入銘柄を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があり、この場合、不測の損失を被るリスクがあります。
為替変動およびカントリーリスク	外貨建資産を組入れた場合、当該通貨と円との為替変動の影響を受け、損失を生ずることがあります。また、当該国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、当ファンドの基準価額が大きく変動するリスクがあります。



その他の留意点

収益分配金は、預貯金の利息とは異なります。収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部戻りに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。収益分配の支払いは、信託財産から行われます。従って純資産額の減少、基準価額の下落要因になります。



ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。なお、販売会社における購入申込手数料率は3.3%（消費税込）が上限となっております。
換金手数料	ありません。
運用管理費用（信託報酬）	ファンドの純資産総額に年1.265%（消費税込）を上限とした率を乗じて得た額とします。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逓減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用・手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額に対して年0.11%（消費税込）を上限として投資信託財産より控除されます。上記の手数料（費用）等の合計額については、運用状況、保有機関等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。



お申込みメモ

その他	商品分類	追加型投信/内外/株式
	信託設定日	2014年12月29日
	信託期間	無期限（ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります。）
	決算日	原則として毎年12月18日（休業日のときは、翌営業日を決算日とします。）
	分配方針等	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
	購入単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問合せください。
	購入価額	購入申込日の翌営業日の基準価額
	換金単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問合せください。
	換金価額	換金申込日の翌営業日の基準価額
	換金代金の支払い開始日	換金申込日から起算して5営業日
	申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。午後3時を過ぎてのお申込みは、翌営業日のお申込みとして取扱います。



ご注意事項

- ・本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものです。
- ・ファンドの組入銘柄の参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。
- ・このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。
- ・投資信託の取得を希望される方は、コモンズ投信または委託会社が指定した販売会社でお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）を必ずご確認くださいのうえ、ご自身の判断でお申し込みください。



関係法人

委託会社

コモンズ投信株式会社
〒107-0062 東京都港区南青山2-5-17 ポーラ青山ビル16階

- ・金融商品取引業者
- ・関東財務局長（金商）第2061号
- ・加入協会 一般社団法人投資信託協会

お問い合わせ先

- コールセンター（受付時間／平日 午前10時～午後4時）03-5860-5706
- ウェブサイト <https://www.common30.jp/>